

海老名市立中新田小学校 学校運営協議会 議事録  
(令和8年度 第1回)

- 1 日時 令和8年5月20日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立中新田小学校 生活科室
- 3 出席委員 笠原祐治会長、西澤弘毅副会長、鍵渡香代子委員  
杉本幸一委員、多田由紀江委員  
高田君恵委員、長濱徳克委員、角田和博委員、久保田祐子委員  
打野公一委員、別府裕二委員、片岡桂太委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

打野校長：1年生も学校に慣れてきた様子である。教育支援コーディネーター中心に様子を引き続き見ていきたい。熱くなってきたのでポテカをよく見ながら活動を進めていきたい。

4月は遊具でのけがも多かった。教員一同ガイドラインを見直ししながら再発防止に努めていきたい。

(2) 委嘱状交付

学校職員を除く9名の委員に委嘱状交付。

(3) 自己紹介

各12名の自己紹介

(4) 会長、副会長の選出

会長に、笠原委員を選出。

副会長に、西澤委員を選出。

(5) 協議・承認

①令和8年度の学校経営方針について

～令和8年度海老名市中新田小ランドデザインについて～

打野校長：教育目標について。大きなテーマは地区で一貫している。それは10年前にできたものである。この数年でまた地区で現状にあったテーマを練り直そうと考えている。今年度は目指す子どもの姿を分かりやすい形にしたい。短い「合言葉」を設定した。笑顔・尊重・安心・挑戦。こ

れらを教室にも掲示をしている。自治会との話し合いの場でもこの合い言葉について共有をした。

また、今年度もインクルーシブ教育を推進していく。通常級だけでなく支援級・とまり木ルームと連携をはかり児童にとっての「居場所」を大事にしていく。

各グループの取り組みについて。

- ① 心づくりグループ…教育支援コーディネーターの専任化により、よりきめ細やかに児童を見ていくこととする。また、行事の中で「地域」と様々な連携を進めていきたい。
- ② 学びづくりグループ…校内研究について。2年後の「ひびきあう教育研究発表」に向けて、新しい講師を迎え土台作りを行っている。また、各教員の実践力の向上や共有をねらって校内通信を発行することとしている。(別府教頭による説明)
- ③ 体づくりグループ…体力・保健関係の行事の内容吟味について。危機管理についての話し合いについて。5月7日に実施された市内合同の引き渡し訓練の日程を考えたり、10月に実施する運動会の方向性について話し合ったりしている。(片岡教務による説明)
- ④ カリキュラムマネジメントについて…学期に1度各グループからメンバーを集めて、教務を中心に実施をしている。昨年度は校内行事の暑さ対策や時数の扱い(時数の確保)、地域連携できるカリキュラムの模索について話し合いを行った。

打野校長：いじめ防止基本方針について。いじめの定義を照らし合わせると、それを一度も感じない児童はほとんどいないと思われる。そこに対していかに教員が寄り添うか、アンテナを高くはることができるかが大切になる。学校行事について。令和8年度において、1学期所見は7月に個別教育相談にて実施する。例年5月に行っていた個別面談に関して本校は1年生のみの実施である。また、2学期の始業式は9月から始まる。地域連携について。社会に開かれた教育課程編成表参照に教務が説明。3年生の県立えびな支援学校訪問を加えたことを説明。年間計画・資料について。資料参照に運営協議会委員に案内を出す学校行事について説明。

～質問・意見について～

鍵渡委員…引き渡し訓練について。小学校によって時間が異なる(海西地区は統一しているが)、小学校の後に受け入れる幼稚園の立場からするとある程度揃っていることが望ましい。もちろん幼稚園からの距離の問題があること承知の上であるが。

打野校長…各学校の状況を確認します。

笠原会長…いじめの対応については、どう取り組んでいるか

打野校長…アンケートを実施して、担任が聞き取りをしている。

西澤副会長…「いじめ」というものをどのように伝えているか。

打野校長…アンケートに学年に応じた分かりやすい言葉で伝えている。

笠原会長…具体的な数はどの位挙がっているか

打野校長…詳細は確認しないと、今資料を持ってきていないが、細かいものは数十件あるが、大きなものは10件ない程度であると思う。

高田委員…所見について。他の学校、中学はどうなっているのか。

打野校長…1・2学期所見を個別面談で伝えることは統一している。

別府委員…中学校の所見は実施していない。

高田委員…地域の行事カリキュラムに「えびな支援学校訪問」があることは嬉しい。

杉本委員…勤務上小田急の「ロマンスカーミュージアム」の橋渡しはできるので活用していただきたい。

打野校長…「海老名市学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」について説明。

笠原会長…P6の閉庁機関について追加説明

西澤副会長…本校の勤務時間について

打野校長…8:20~16:50となっている。

②令和8年度 学校運営協議会実施計画について

会長・副会長と話し合いのもと、後日開催日を通達するという形をとる。

～以上の事項の承認～

## (6) 意見交換

鍵渡委員…「働き方改革」について。難しい側面はあるが、小学校がどのように進めていくか（2週間の閉庁機関）理解することができた。

杉本委員…カスハラ・パワハラについて。あまりに度を越している場合は弁護士を立てることもある。

多田委員…小学校の早い段階で、保健教育を進めていることが勉強になった。3年生で「喫煙教室」があることに驚いた。ひるえびでのつながりを大切にしていきたい。

高田委員…えびな支援学校の位置づけを「教育課程」に組み込んでもらったことは、双方にとって大事である。支援学校でも連携が声に挙がっていたので、ぜひ実施していきたい。

長濱委員…このような会議があることが財産であると感じる。農業高校も連携してカリキュラムを進めていく際は協力していきたい。

角田委員…こどものソーシャルゲームでの課金について。オンラインで課金にて購入したもののやりとりをどのように捉えるかについては難しい問題である。基本親が考えていく問題ではあるが、学校も入ってくれたことでスムーズにことを進めることができた。

打野校長…禁止はできないが、このようなことをいかに啓発していけるかが大事になってくると考えている。

長濱委員…リテラシー教育は早い方がよい。高校ではもはや遅いともいえる。

久保田委員…家庭教育学級の活用もありえるが、親の知らないところで行われている可能性もある。子どもが小さい頃から、親も常にアンテナを張っている必要がある。

西澤副会長…先生方の疲弊は、必ずしわ寄せがくるはずなのでどうすれば軽減できるかを考えていくべきである。

打野校長…子どもたちと関わる時間を増やすための時間を少しでも捻出できるような「働き方改革」にしていきたい。

笠原会長…中小っ子基本ガイドの「家庭と学校との連携」の部分でSNSに関することが記載されている。この点も周知していくべきである。

## (7) その他

「海老名市コミュニティー・スクール研修会兼中学校区学校運営協議会」について打野校長より説明。

## (8) 授業参観

各委員、授業参観後解散